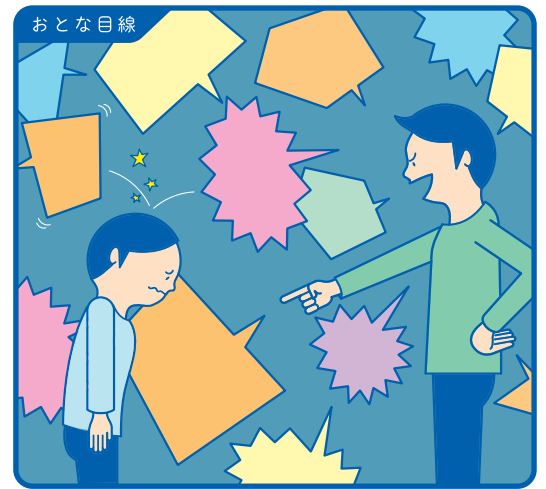




視 点 の さくら

SAKURA'S PERSPECTIVE

さくらこどもセンターでのとあるシーンを「さくらの視点」からわかりやすく解説します。



お世話と暴力を繰り返す優しい6歳の男の子

他の生徒に怪我をさせるかもしれない！三角の鋭い目。他の子どもが近づくと牙を剥いたように威嚇をする。近くのおもちやを触ろうとすれば瞬時に足や手が出る。指導者の中に緊張が走る。虐待という言葉がよぎる。

決して育児を放棄している親ではない。どちらかと言えば父親は働く母親に代わって家事をこなし、毎日のお弁当も父親の手作りだ。しかし子どもと一緒にいる間は立て板に水の如く子どもへの注意と指示と説教が止まらない。その説教は終わることが無い。男の子は下を向いて黙って聞いている。いつもの光景なのだろう。父親の憤慨が通り過ぎるのをじっと耐えている。「この子はちっとも私の言うことを聞かない」と父親は悩みを話す。子どもとは、聞いてもらった分だけ聞くことができる子になるものだ。この子に発言が許されるのであれば「僕の親はちっとも僕の言うことを聞こうとしない」と言いたいだろう。

瞬時に私たちの指導方針が決まる。とことんこの子の話に耳を傾けること。とことんこの子の視線に気づくこと。あれから1年の取り組みを経てこの子は優しい男の子へと戻っていった。変わったのではなく本来の姿に戻っていったのだと思う。三角だった目が丸く穏やかな目になった。小さい子の面倒を本当に甲斐甲斐しく見てくれる。困っている子がいればすぐに気づいて手を差し伸べてくれる。

父親の状態と男の子の状態はシンクロする。甲斐甲斐しく世話をする一面と、余裕がなくなると徹底的に罵倒し、殴る蹴るを繰り返す一面を持つ父親の姿。小さい子どもの世話を本当に甲斐甲斐しくする一面も父親の姿である。2人は同じだ。おそらく父親も男の子も虐待の被害者なのだろう。思い通りにならなかった途端に、もうひとりの傷ついた自分が顔を出す。

世話をしている男の子の顔は、とても優しく愛おしいような目は母性的である。見ていて微笑ましい。しかしよくよく観察すると相手が求めていることも一方的に次から次へと世話をやいていくように見える。相手の心情は棚上げで、世話を焼く

自分の姿に何かを重ねているように見える。何を重ねているのだろうか。母親？その姿は最も欲しいものを自ら演じているように見える。甲斐甲斐しく世話を焼かれたい欲望を重ねているのかもしれない。愛おしく向き合ってもらいたい望みを重ねているのかもしれない。男の子のけなげな思いに胸が締め付けられる。

幼少期に愛され手をかけて育てられたことも、やがて他者の喜ぶことを分け与えることを喜びとするように成長する。そして分け与えるほど自らの心も豊かになっていく。男の子と父親は他者の喜ぶことを一生懸命に分け与えるのだが後から空しく心が枯れて心のバランスが崩れるのかもしれない。

子どものけなげな思いにどうぞ応えてあげてほしい。子育ては分け与えることの連続。自分の時間、自分の食べ物、自分のお金を子どものために使います。もし苛立ちに変わることあれば、あなた自身が優しさと助けを欲していることに気づいてほしい。あなた自身を許し、あなた自身を愛おむことから子育ては始まるのです。

指導者の心得

- 子ども年齢と親年齢は同じです。
初心者マークのどちらの芽生えも優しい眼差しとサポートを求めています。誰かに助けを求めることは決して弱いことではありません。むしろ強いことなのです。
- 思い通りにならないことにはそれなりの理由があります。
そのわけを知ることで避けられる困難があります。
竹を曲げる時には熱をくわえながら徐々にしならせていきます。何事も無理矢理力尽くでは折れてしまいます。子どもの心と親の心がしなやかであるために相談会やペアレントプログラムへの参加を薦めています。

エリクソン校ではGYMで基礎体力を身につけた、子ども達の新たなステージとして サッカー教室がスタートしました！

今後、マウンテンバイク教室も計画しています。どろんこになってエリクソンの森を駆け回る、たかましい子ども姿が見られるのも近いです。



INFORMATION

お問い合わせ コールセンター 078-331-3200 (会員様専用 079-564-4192) [受付時間：平日 / 土曜 9:00~18:00]
開催日や開催校などの詳細情報は、ホームページ「さくら日記」(https://ameblo.jp/2503sakura/)でお知らせしております。ご参加お待ちしております。



さくらっ子クラブの新しいプログラム「むかし遊び」。ヨーヨーやこま回し、けん玉など昔の遊びを通して子どもたちの「できた！」の瞬間を増やしていきます。



第2回の料理男子クラスでは、三色丼と豚汁をつくりました！みんなで手際良く分担して、作ることができました♪



4月からはじまる「サッカー教室」。よく球技が苦手というお子さんのお話をよく耳にするので、まずは、子どもたちとボールの距離を縮めていきたいと思っています。



4月からはじめる「実験遊び」では日々の生活の中で出会う「？」を実験遊びで説明します！



年度末にお出かけに行ってきました。みんなお兄さんになり、公共マナーもばっちり！お寿司屋で仲良くお食事をしました。



3月から仲間入りした、サッカー歴20年以上の加瀬先生！長年、福祉施設で自閉症、発達障がいの方々と関わってこられました。視覚的に分かりやすい工夫を取り入れながら、スモールステップで楽しく進めていきたいと思っています！



3月の活動報告

ACTIVITIES IN MARCH

さくらの日常を毎日発信している「さくら日記」から3月の活動をピックアップしました。



ソーシャルスキルトレーニングでは、2枚の絵カードを比べて考えます。どうしてかっこいいか、理由もしっかりと考えて発言できていました！



ダイハツものづくり体験では、ライン作業を体験しました！車にはたくさんの部品があり、1人では組み立てられないことを知りました。



みんなで校外学習に向けて話し合いを行いました。話し合いがスタートすると、鉛筆を出してメモしてくれました！書記は、話し合いにおいて、大切な役割ですね。



ケイキマナスクールの参観日には「頑張っているところを見てね！」といつも以上に張り切っていました。



災害時のいざという時の備えとして備蓄用の食料を準備しました。お水を入れるだけで、できあがるそうです。



フラワータウン校にALSOKのセキュリティシステムが設置されました。相談ボタンを押すと、救急の対応を相談できます。